

地域運動部活動 第1回視察を終えて

春日井市立岩成台中学校 (バドミントン)	
体制	第一顧問 (地域指導者・男性) 第二顧問 (再任用フルタイム・昨年度第一顧問・女性) 第三顧問 (大会引率のみ) コーチ (土日・技術指導)
保護者説明会	コロナ対応により実施できた部とできなかった部がある。バドミントン部はできなかった。
指導者 1	第一顧問はかつて同中学校でバドミントン部を率いて全国大会出場を果たしている。校長で退職後、教育センターで2年勤めた。再任用の期間は残っているが、要望せず市のバドミントン協会のみ携わるつもりであった。今回の話を受ける上で、通勤距離が条件の1つだった。平日も休日も指導に当たる。
指導者 2	第二顧問は体育科だがバドミントンは専門ではない。技術を伸ばす指導をしてやれず、昨年までは心苦しく思っていたが、地域指導者が入ったことで解消されてとても良い状態だと感じている。
活動計画	活動予定は第二顧問が作成して第一顧問に情報を入れる。
個人情報	第一顧問も生徒の個人情報を把握しており、携帯電話で連絡をとる。地域指導者が第一顧問であるため、問題が起きたときも文書作成や家庭訪問なども行う。
生徒指導	日常生活のトラブルや気になることは第二顧問が目配り対応する。第一顧問と情報共有し、生徒の様子や意見も第二顧問が第一顧問へ橋渡しをする役割を担っている。
部員	男女共に練習。2年生女子部員数名の話から、現状に非常に満足している様子がうかがえた。コロナ対応のために活動時間が縛られてしまうこと、管理を徹底されることで早く来て自由に活動することができなくなったのは少々不満。しかし、メリハリのある練習により、無駄な時間を過ごすことがないことを喜んでいて。昨年よりも今年の方が良いと回答。
保護者の反応	良好
春日井市立高蔵寺中学校 (剣道) *校長より聞き取り	
体制	地域指導者 1・高齢・道場を経営していた顧問 (活動にはほぼ参加せず) 地域指導者 2 (指導者 1 の補助にあたる)
保護者説明会	コロナ対応により紙面開催、地域指導者に対する個人情報の提供承諾書をとる。
指導者 1	技術指導で長く同校に関わってきた。1時間 2,500 円で市が雇用。会計

	年度任用職員となっている。携帯電話を持っていないため、連絡が取りづらく生徒に連絡もできず、急な対応の時に困る。学校の意向をくんだ選手選考などを行うが、市に対する不満が多い。同校校長が剣道関係者であった関係で指導を依頼していた。高齢であるため、指導者2を連れて指導する。平日も休日も指導しているので、指導自体は一貫している。
活動計画	活動予定は顧問が作成。練習試合などはどのように決めているか不明。
個人情報	承諾書をとって共有できるものの、活用されていない。
保護者の反応	今年度、普段の練習には参加していない顧問が選手選考の場に参加したことに対し、実力のある1年の保護者が選手に入れなかったこともあって抗議。
春日井市立石尾台中学校（卓球）*教頭より聞き取り	
体制	地域指導者 顧問（土日は不参加）
保護者説明会	コロナ対応により紙面開催
指導者	平日も休日も指導にあたるため、指導が一貫している。
顧問	家庭の事情で参加できないことがある。
職員の反応	専門でない部活を担当している職員から不公平感を訴える意見がある。

3校の視察を終えて・・・メモ

春日井市は昨年度までの部活動指導員の中から会計年度任用職員として採用する形をとっている。市で年3回の講習も受講させている。

メリット：教職員の負担軽減につながっている。

平日も休日も指導に当たるパターンが多いため指導が一貫する。

▽望んで市職員となっているわけではなく、本来はサブの立場での指導を望んでいる。

デメリット：平日も休日も指導する指導員がメインになるため、指導をメインで行いたい先生が指導できないということがある。

その他の気になること

- ・雇用の形態が様々（1つの部に500時間まで）なので、月に数回だけの指導の人もある。その場合はなかなか連絡がつかない。
- ・学校職員となるため、面接は行うが、人柄などは多く接していないとわからない。
- ・土日の活動に対して学校は関係ありませんとは言えない。問題が起きると学校に連絡が入る。
- ・平日の指導ができるのは、若手か高齢かで極端である。
- ・本来ならば、手薄な部活に指導員を入れたいが、意図からずれることがある。
- ・ユニフォーム問題

大口町立大口中学校（サッカー）	
体制	<p>第一顧問（教員・男性・専門知識あり）</p> <p>第二顧問（教員・男性・専門知識あり）</p> <p>コーチ（平日・土日・技術指導・教員 OB・ウィル大口所属）</p> <p>平日も休日も顧問とコーチがいる。</p>
指導者	<p>令和3年4月から指導に入る。</p> <p>技術指導がメイン。審判の手伝いも行う。ゴールキーパーなど役割分担して指導できることが良いと考える。</p> <p>教員 OB なので、学校部活動をよく理解して指導を行ってくれる。</p> <p>コロナ禍で練習変更などの連絡体制を整えてほしい。</p> <p>一人で指導もできるにはできるが、何かあったときの連絡や対処に困るため、コーチの複数配置を望む。</p>
顧問	<p>男性2名。競技経験あり。</p> <p>平日練習に行けなくてもコーチがいることで安心できる。3人の視点が生徒にとって有益であると考えている。町の施設を借りるなどの連携ができるとよいと思っている。</p>
部員	<p>1年7人、2年13人とは別に、クラブチーム所属者が7人いる。顧問には全体への指導と技術指導を、コーチには技術指導を求める。人間関係の問題は、すぐに相談できて対応もしてくれる顧問に相談する。3人の指導者がいることで、広い目でみてもらえるメリットを感じている。</p>
保護者の反応	良好
大口町立大口中学校（バレー部）	
体制	<p>男子顧問1・女子顧問1・両方の地域指導者1（ウィル大口所属）</p> <p>平日も休日も顧問と指導者がいる。</p> <p>平日は1コートを手前ずつ使用し、コーチは男女を交互に指導する。</p> <p>休日は男子半日、女子半日の練習に時間差でコーチが参加。</p>
指導者	<p>令和3年4月から指導に入る。</p> <p>主に技術指導を行うが、人間関係などにも敏感に気付いて顧問と情報を共有できている。</p> <p>うまくなりたい部員とやってみたい部員の両方の居場所となるよう指導している。</p> <p>教育的視点はもたず、技術に重点をおいて指導している。</p> <p>情報や変更に対して、ウィル大口の全スタッフへ共有できるようにしてほしい。（●●部は聞いているが、△△部は知らなかったということがないように）</p>
顧問	<p>女子：教師2年目の女性1名。ウィル大口のネットワークで練習試合の</p>

	<p>相手が広がり、活動場所も確保しやすい。人間関係については顧問が対応するようにしている。</p> <p>男子：男性1名。メリットは①知識、②業務軽減、③子供が触れ合う機会。デメリットは①連携不足、②費用。課題は①スケジュール管理、②クラブ化と考えている。</p>
個人情報	承諾書をとって共有できるものの、活用されていない。
保護者の反応	良好
部員	男子1年6人、2年8人、女子1年11人、2年11人。顧問は全体の雰囲気と生活面を担当していると捉えている。コーチが練習メニューを決め、技術面も精神面も指導する。そのため、顧問がいなくても活動は成り立つと考えている。コーチが目標を立てさせ、技術面上達のために指導をしており、引き締まった活動ができていると評価している。生徒もコーチには技術指導を求める。人間関係の問題は、すぐに相談できて対応もしてくれる顧問に相談する。3人の指導者がいることで、広い目でみてもらえるメリットを感じている。
大口市立大口中学校（水泳）	
体制	<p>地域指導者：ウィル大口所属、平日も休日も指導</p> <p>顧問：男性、競技経験あり、平日も休日も指導</p>
保護者説明会	コロナ対応により紙面開催
指導者	<p>平日も休日も指導にあたるため、指導が一貫している。</p> <p>生徒は参加することに欲をもっており、否定的な考えの子はいないと感じている。</p> <p>個人差がある前提で指導に入っていくべきであると考えている。</p> <p>プライベートと行事のスケジュールが合わないことがある。</p> <p>コロナ禍で日々変わっていく情報がうまく伝わってこないことがあるのが課題と考えている。</p>
顧問	<p>水泳部は初顧問。コーチから助言をもらっていてありがたい。</p> <p>施設利用が円滑にでき、練習の場が設けられることがメリット。スタッフの増員も期待したい。</p>
部員	<p>令和3年度から新設したため、2年生4名が転部する形で15名の部員で出発。練習をもっと長く、休日もやりたい。数名はクラブチームにも参加している。</p> <p>顧問は精神面、コーチは技術面を教えてくれる存在だと考えているが、指導者が増えればもっといろいろな角度から指導してもらえるので増えてほしい。一方で、人が入れ替わる形であると相談しにくくなると思っている。</p>

〈中学校部活担当者より〉

大口中学校の個人情報管理・・・部活説明会で説明済み、現在は顧問もいるのでコーチ単独の持ち出しをすることはない。

レベルの高い技術はコーチが、学校活動は教師が担当することがよい形と思われる。

〈教頭より〉

5年・10年先を考えていく。

17時までは学校部活、それ以降にレベルや意欲別の活動ができればよい。

ウィル大口以外の外部コーチも入っているが、例えばウィル大口が施設管理を引き受けてくれるとよい。

地域運動部活動 第2回視察を終えて

春日井市立石尾台中学校（卓球）	
体制	女子主顧問（退職教員・71歳男性）・・・指導者1 女子副顧問（平日と大会・遠征引率） 男子主顧問（教員5年目・男性）・・・指導者2 男子副顧問（女性）
指導者1	女子主顧問は退職後石尾台中にて再任用として赴任し、その際復活させた卓球部をずっと指導している。女子顧問となっているが、練習は男女共に行っているため、実際は男女関係なく指導している。居住地が春日井市の中央であるので、他の学校で教えることになっても赴くことができる。平日も練習に参加するだけでなく、土曜の夜は社会体育で開放される石尾台中学校武道場（卓球練習場）に一般の会員として通いながら、生徒の指導も行っている。学校の場合でその学校の生徒が活動するのであれば、教師が責任をもつべきだという考え。今後、市教育委員会が依頼する休日の一人体制や鍵の管理も引き受ける意向。教員経験者でない指導者がどう感じているのか知りたい。
指導者2	専門はサッカーだが、初任から卓球部を任せやりがいを感じているので継続指導を希望している。生徒や家庭との窓口の役を担う。土日の練習以外に、土曜の夜の社会体育にも自ら会員となって参加し、指導も行っている。
活動計画	指導者1・2で相談し、修正を加えながら行っている。
生徒指導	指導者2が対応に当たるが、問題は特に起きていない。
部員	男女共に練習。2年生女子部員1名の話から、現状に満足している様子がうかがえる。現在の指導体制が数年続いているので、特に問題はない。黙々と練習に励む。土曜の夜の社会体育は学校ジャージでもそれ以外でも問題なし。社会体育には希望者がそのとき集まる形。部員の3分の1程度が参加している。必ず送迎がいるため、実際はもっと参加希望があるかもしれない。
保護者の反応	良好
春日井市立坂下中学校（女子テニス）	
体制	地域指導者：女性1名 顧問：男性1名
指導者	平日も休日も指導にあたるため、指導が一貫している。地元に住居し、15年ほど坂下中学校の指導に関わっている。御本人の仕事があるので、その合間を縫って指導に当たっている。本人も現役プレーヤーで自身も練習している。春日井市内のクラブチームでも、週1日程度行けるとき

	はボランティアで指導を行っている。現在でも多忙な生活であるため、他校での指導は難しい。生徒が自分に見せる顔と顧問に見せる顔は違うことがあると理解し、学校生活をメインとした選手起用を行う。一人での指導については、4月から7月の大会に向けた期間に最も部員が多いため、一人で目を配ることができるか不安。市の教育委員会からテニス仲間を指導員に誘ってもらいたいと依頼される。
顧問	大学時代に地域指導者としての経験あり。中学時代に硬式テニスを経験。専門はサッカーだが、赴任時からテニス部を任されている。休日も練習に参加して指導。練習計画はコーチの予定をうかがいながら顧問が作成。
部員	学校は部活動に所属することを強制としていないが、女子テニス部は20名程度所属している。そのうち数名が休日の習い事を優先している。中には平日だけで十分という考えの生徒もいる。試合に出たい、レギュラーになりたい生徒が休日の練習にも参加している。コロナ禍で8月後半から9月まで部活動ができなかったため、再開した現在は喜んで活動している。 (3名の生徒より) 様々なことを伝えたり相談したりしやすいのは、時間を多く共有している顧問。コーチだけの練習となったら、だらけるのではないかという意見が出た。
教頭の感想	学校に寄せられる苦情の多くは部活動に関係する。地域移行以外でも、部活動は大きな問題。
春日井市立中部中学校 (男女剣道)	
体制	地域指導者：非常勤講師であり、顧問も務める (男性1名) 副顧問：2名、平日見に来る
指導者	平日も休日も指導にあたるため、指導が一貫している。令和2年度は非常勤講師の立場で練習に参加する形だったが、令和3年度は初めて顧問として指導にあたる。 非常勤講師という立場なので、職員室に入ることは抵抗ないが、指導員業務 (大会エントリーや登録メール送信) を行うための PC 支給・インターネットなどの環境が道場にもあるとよいと考えている。 規模の大きい学校であるため、コロナ禍もあって、他学年への連絡が困難。その分、副顧問の役割が大きい。
顧問	練習予定表は副顧問が作成。
部員	20人弱の部員のうち、男子には経験者が数名、女子は皆初心者。昨年までいた顧問は技術を高めてくれる存在、今の顧問は褒めてくれてやる気を出させてくれる存在だと考えている。試合前のアップや練習メニューが以前と変わった。

春日井市立高蔵寺中学校（男女剣道）	
体制	<p>地域指導者：男性2名、うち1名は平日も指導にあたり、4～5年以上同校に携わる。もう一人は休日のみで令和3年度から関わっている。</p> <p>顧問：平日の部活時間最後に少し参加する程度である。</p> <p>この体制で数年経つ。</p>
指導者	<p>平日も休日も指導にあたるため、指導が一貫している。保護者説明会にも参加し、卒業生とのつながりもある。</p> <p>技術指導を主に行い、アドバイスはするができるだけ顧問の前に立つことがないように配慮している。</p> <p>コロナ禍で練習試合もできていない状態だが、12月初旬に初の大会引率を行う。（会場へは保護者送迎）</p> <p>名簿を渡されているので保管している。</p> <p>携帯電話を学校から貸し出してもらっている。</p> <p>無断欠席が見られるようになったため、保護者との連絡や欠席連絡は顧問が行う形を望んでいる。（制度とは異なるが）</p> <p>通常活動中での熱中症が心配である。（市が道場に冷蔵庫を入れた）</p>
顧問	特に情報なし
部員	<p>初心者がほとんどで、男子7人女子3人が視察時練習していた。実際は16名いる。</p> <p>仲が良いのは良いが、良すぎて練習に邪魔になることがあると思っている。入学直後は厳しい先生かもしれないと思っていたが、優しく生徒は安心したということであった。練習量は今の状態が良い。試合に関しては、団体戦しかなく個人戦がないのが不満。技術については指導者を頼っている。</p> <p>高蔵寺中学校は全員加入制ではないが、入部した生徒は土曜も練習に参加している。</p>